

みなみたね

第1回定例会



議会だより

第153号

発行
平成28年6月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 小園 實重 ■編集：議会広報編集委員会 ■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



望永運動教室



平山運動教室



下中運動教室



上中運動教室

平成28年第1回定例会(3月定例会)が3月3日～17日まで開催されました。
また、第1回臨時会が5月2日に開催されました。

主な内容

一般質問(9名).....	2～10
所管事務調査報告.....	11
予算委員会報告.....	12～13
当初予算討論要旨・人事.....	14
条例制定・一部改正.....	15
賛否が分かれた議案・編集後記.....	16

一般質問



立石 靖夫 議員

名越町長の政治姿勢を問う

立石 今回の質問は、名越町長の農業政策である堆肥センター、キャトルセンターの運営状況と、観光推進の考え、選挙時のマニフェストを主に質問します。

名越町長1期目建設した堆肥センター、キャトルセンターの運営状況と赤字対策を示せ。

町長 堆肥センターについては、家畜排泄物の適正処理と排泄物の有機質資源を肥料化し、良質な堆肥を町内の農地へ還元し、土壌の生産能力の維持・増進と畜産環境保全として設置し、管理運営を行っている。

立石 27年度で2500トンの生産量に対し、需要と供給の割合を示せ。

総合農政課長 堆肥の生産量は全体で2496トン、内販売量は1083トンで、差引き1413トンは戻し堆肥として活用し、製品をいつでも出せる体制でいる。

立石 キャトルセンターの建設計画の畜産農家戸数と現在の畜産農家戸数を示せ。

総合農政課長 建設当時の畜産農家戸数は、115戸、現在の農家戸数は90戸で25戸の減少であります。

立石 建設当初計画の説明では、高齢農家の所得向上と高齢農家が牛を飼いやすいようにと計画したわけですが、高齢畜産農家はやめているが。

町長 牛を飼う農家が島内相当減っているわけでありまして、その中で減っていないのはうちの町だけだと思います。

堆肥センター・キャトルセンターの累計赤字は

立石 堆肥センター・キャトルセンター両施設で開始以来5年間でいくらの累計赤字額か。

総合農政課長 両施設の22年から27年度までの累計赤字額は、9331万2千円の赤字です。

立石 両施設の累計赤字額は、5ヶ年で1億円ちかくなるが、町長はどのように考えているのか。

町長 堆肥センターは今後民営化を念頭に置き、しばらくは現況のままで肥料代の値上を検討する。キャトルセンター運営については預ける人等の意見も聞き今後検討する。

観光振興と施設活用の利便性改善策は

立石 国・鹿児島県においても観光立国推進基本法に基づいて、観光施設の整備や交流人口増大を図るための予算が計上された。人口減少が進む本町は農業体験型観光や、文化に触れる観光客誘致が必要であるが、他にない観光施設の週1回休館をせめて月1回の休館日にして、観光客の利便性を図るべきでないか。

町長 財政的な負担増を考慮し、現在の週1日の休館日の継続を考えています。

公立種子島病院は午後の診療が必要

立石 町長は医師が5名以上でないと午後の診療はしないと言うことか。

町長 基本的には議員の質問のとおりで、病院側とも協議し、そう言うことになっている。

どうしてそうかということがあるんですが、そのことは答えません。

立石 1月29日、両町長、両議長、医師の皆さんと懇談会が開かれたと聞かすが、午後

の診療をお願いしたのか。

町長 院内会議の意見を踏まえて、できないと言うことで協議しておりますので、この話はしておりません。

立石 町長、私は町長の答弁が病院の運営に関して、町民のための病院運営に本気であるのかと心配しています。ただ医師ができないから、午後の診療ができない。今まで、3名の医師が1日中診療して、在宅介護、予防接種に従事し、26年度決算で赤字にしているが、27年度決算で赤字額はいくらか。

町長 27年単年度赤字額は、4748万円の損失見込です。

議員が町を相手取った弁護士費用の請求は考えないか。

立石 西園茂議員が町を相手どった裁判は、却下した。また、日高澄夫議員の町道上中下中線整備は、無駄遣いとして裁判をしたが、途中で取り下げた。町が支出した弁護士費用は約600万円、2人に対し弁護士費用を求める考えはないか。

町長 答弁は差し控える。



上園 和信 議員

人口減少対策と活性化策について

上園 南種子町の人口のピークは昭和35年の1万2566人、世帯数2757戸、1世帯当たり平均4.5人であったが、昭和40年ごろから減り始め、平成28年2月末住民基本台帳人口は5896人となった。

2月27日総務省発表の本町の国勢調査人口は5745人、世帯数2724戸で、5年前に比べ473人、7.6%減っており、熊毛地区で一番高い減少率である。

町長はこの現状をどう受け止めているか。

町長 離島振興法や過疎法など、国の法律や制度を活用して各施策を展開してきた。今回、地方創生の取組みについても喫緊の課題として取り組まなければならないと考える。高齢化と、慢性疾患のようなじわじわと忍び寄る少子化、この町や暮らしに深刻な影響を与えており、ゆゆしき事態と認識している。

上園 この人口減少が行政運営、住民生活に与える影響は。

町長 地域経済力が低下し、行政運営上は歳入不足に陥り、住民サービスの低下を招き、民間企業も事業撤退等へとつながる。医療や交通、教育といった生活に必要なサービスをどう維持するか。道路や環境、公共施設のインフラの維持、地域の産業、雇用の開発など多くの課題に取り組む必要があると考える。

上園 本町の人口動態は。

総務課長 平成27年1月から12月の出生者53人、死亡者104人、転入者315人、転出者339人、自然動態はマイナス51人、社会動態はマイナス24人となっている。

上園 自然動態、社会動態ともマイナス。

南種子町には日本で唯一国策で進められているロケット

発射施設がある。この宇宙開発と連携し、町づくりを進め、人口減少を食い止め、活力ある町をつくっていく必要性を痛感する。

企業誘致に取組み、若者の定住・移住を促進することについて、どう考えるか。

町長 宇宙開発関連企業と連携した企業誘致推進については、地元企業と、地元就職者のマッチングを行う相談窓口を企画課内に設置し、定住促進を図る。

公約等の取組みについて

上園 名越町長は、町長選挙に立候補するに当たり、多くの公約と、名越おさむ後援会だよりで選挙に臨む基本的な姿勢を示し、当選を果たした。

公約は「病院経営の早急な立て直しで、医療福祉の充実と安心して入院できる体制を整える」など5項目。後援会

だよりの町長選挙に臨む基本的考えは「国の補助金・交付金を活用した公共事業の拡大を図り、就業者の賃金アップを目指す」など13項目。公約等どれも住民の福祉増進・町の活性化には最重要と受け止める。

28年度はどの項目に重点的に取り組む考えか。

町長 13項目ありました。実施に向け4年間、あと3年間頑張る。1年では全部できない、これは半分以上は、3分の2くらいは手掛けて進んでいる。希望の持てる活力ある町づくりに全身全霊で頑張るといふことである。

南種子町民が安心して住みよく、明るい、楽しい生活環境をつくること、首長としての私の使命であると思っている。今医者の確保に飛び回っている、医師を確保し、住民の要望に応えたい。

堆肥センター近辺のカラス対策について



塩釜 俊朗 議員

塩釜 有害鳥獣、カラス、ヒヨドリ、ドバト、シカ、それぞれ大なり小なり被害が見受けられる。堆肥センターの周辺のカラス対策について以前から苦情があつたと聞く。この周辺は畜産農家もあり、定期的には、牛舎の上にはカラスで真つ黒、多分牛の餌を食べに来たのだからと思う。又、カライモの苗床がカラスにやられて大変だと聞く。地域の人たちはそれなりに対策を練っているようです。堆肥センターには、カラス箱の罠が1つあります。年間残飯などを収集しておりますが、被覆しているのか。又、網を被せる等その対策はしているのか。

総合農政課長 生ゴミの受け入れについては、終日4時まで受け入れしている。作業員の方で堆肥の原料となる生ゴミは見えないような状況で、被覆はその都度しておりますが、持ち込みに合せてその都度というのは、対策が取れていない。

町長 キャトルセンターのように、全部網を張るように予算化をしている。そのことによつて入ることができないのではないのか。周囲に対する迷惑も少なくなるのではないかと思う。十分踏まえたうえで即対応したい。

塩釜 カラスの罠、町内には4個設置している。堆肥センターのカラスの罠箱は、機能しているのか、していなければ今後の対策は協議しているのか。

総合農政課長 今現在1年間の活用自体は、初期の6ヶ月間使用したのみ。今現在では使用されていない。木材関係の補強を図って再利用。有効的に活用していきたい。

キャトルセンターの現状と運営について

塩釜 キャトルセンター建設当初計画に基づいて、受託頭数の確保に努力していると思いますが、現状と今後の運営について、答弁を求めます。

町長 子牛生産頭数が現段階減少していない理由は、1市2町でのことであります。が、キャトルセンターの影響があると思います。早期出荷傾向と去勢処置方法状況等の変化などによりまして、預け入れた時期が遅く、預託日数が短くなったことで1頭当たりの預託期間が7割程度に留まっていることが赤字の要因と考えております。今後の対策は、さらなる飼養管理技術の向上。預託料を運営経費に見合つた適正な価格に引き上

げることも検討する必要がありますと考えております。肉用牛キャトルセンター利用組合との話し合いを進めていきたいと考えております。

堆肥センターの現状と今後の運営について

塩釜 町の堆肥センターの運営につきまして、原料となる堆肥の確保に努めていると存じますが、今後の運営は、どのように進めていくのか。

町長 良質な堆肥を町内の農地へ還元していこうという趣旨のもとにやっている分けてありますが、赤字が続いており苦慮しているところでもあります。良質堆肥生産により、バラ堆肥は散布者による要望が、増大傾向にあります。が、袋堆肥の利用率が低いことなども赤字の要因となっております。今後運営状況を精査いたしまして、生産コストの軽減に努め、適正価格を設定したいと考えております。

身体障害者の雇用対策について

塩釜 身体障害者の雇用の促進等に反する法律には、二国及び地方公共団体は、障害者の雇用について、事業主、

その他国民一般の理解を高めるとともに、事業主、障害者、その他の関係者に対する援助の措置及び障害者の特性に配慮した職業リハビリテーションの措置を講ずる等障害者の雇用の促進及びその職業の安定を図るため必要な施策を統合的かつ効率的に推進するよう努めなければならない」とこのように定められております。会社の方にも障害者の方も雇用して下さいというふうな気持ちもなければいけないと思うが、町長の考え方は。

町長 議員の提言については、十分可能な限りやっていくべきだと判断しております。努力したい。

公立種子島病院の今後の運営について

塩釜 中種子町と南種子町の患者構成は、どの程度か。

町長 中種子町が20・52%、南種子町が79・48%であります。

塩釜 住民要望である午後診療は、何名の医師を確保したることができるのか。

町長 午後診療をするには、5人、午前中3人と午後2人ということになっている。努力したい。



柳田 博 議員

オペレーター講習会の開催について

柳田 基幹作物であるサトウキビの収穫（ハーベスター）作業について質問します。今年度、キビ増産事業については、種々の補助事業を展開され、キビ生産農家にとつてはこの上もなく有り難いことで、収量アップに個々で努力することは間違いない所です。そこで平成28・29年度の収穫作業（ハーベスター）での刈り取り作業がオペレーターによつて、その後の作業や萌芽が悪いなど、色々な問題がある。農家はオペレーターを選択出来ない。オペレーターと事前に意見交換、技術指導などを協議し合える講習会等は出来ないか。

町長 本町では、公社も含め21組織23台が稼働しており事前講習も実施している。利用組合等で協議をしながら生産振興対策として実施の方向で検討します。

公民館主事の廃止について

柳田 条例公民館の公民

館主事を廃止する根拠をお聞きしたい。先の本会議で議案第7号で可決をしました。が、今後の地区公民館長の配置と役目、また地区での位置付けは行政連絡員と任命すると云われますが、公民館の管理をするだけか。

町長 人口が激減していく中で、地区に主事を1名置き地区で決まったことを役場の職員が事務だけをやることでは話にならない。今後は、国庫補助金を利用し地域支え合い推進員を配置し、高齢者の包括ケアを中心に実施する。そう云った時間帯の中で、地域の学習や家庭教育支援拠点としての機能の発揮に努めて参ります。

新教育委員会制度問題点はないか

柳田 平成27年度より、新教育委員会制度が施行され、教育委員長を教育長が兼務する新制度に移行したが、社会教育、学校教育を含め問題点等ないものか教育長の総合

的な意見を聞かせて頂きたい。

教育長 南種子町教育大綱を策定した。学校の存続、学校の小規模であることのメリットを最大化し、施設分離型の小中一貫教育の推進に当たっている。色々な推進を計る上で大きな問題は無いところでは。

介護施設入所費用の家族負担対策は

柳田 町内の高齢者介護施設（老人ホーム）について、特別老人ホーム、ショート、グループホーム含めて134床もあるが、入所待機者が常時30〜40名おり、特老を除いては、年金のみでは不足し、その家族の負担は大きい。その対応策はないのか。

町長 対応策については、国は独自の軽減策は介護保険の趣旨から適当ではない。また一般財源からの法定外の投入は慎まなければならないという通達も来ているところ

であるので、ご理解をいただきたい。

島間港係留バースの運用について

柳田 島間港の係留バースの運用について今現在、固定した専用荷役設備を持った会社、5社、5ヶ所ある。その他カーゴ船の荷役バース、観光船、ロケットの機材等の荷役等で係留バースの競合性も日増しに高まってきており、また今年度は宇宙開発関連の専用船の出入船数も増えると思う。島間港利用者協議会を再設立をしスムーズな運用を県の方に要請していただきたい。

町長 県の答弁で利用者協議会は利用者の任意の組織で、港湾管理者である県が設置を義務づけているものでもないということですが、現状を把握していない所もあると思う。今後要請をし、利用者に対し指導対処をお願いしたい。

平山地区河川について



大崎 照男 議員

大崎 西之町集落にある山田川について、長い歳月にわたり崩壊により幾度となく大雨ごとに氾濫したとのこと。杭を打ち応急策はされながらその効果も余り見られず、大雨ごとに氾濫し民家もあることから、怖い思いをしているとのこと。崩壊による氾濫防止対策改修工事の実施をしてほしい。

町長 山田川の改修につきましては、平成28年度の県営農村地域防災事業の西ノ園地区で、延長250mで用排水路の整備を計画しております。

大崎 中之町集落内にある向井里準用河川について、崩壊により幾度となく大雨ごとに氾濫し民家もあることから、氾濫防止対策改修工事をしてほしい。

町長 未整備の区間が50mあり、用地買収等を含め町単独の事業では厳しい状況であります。補助事業を活用するにも採択条件が厳しい場所でもありますので、水路の改修に当り十分に上流部と下流部

の調査を行い他の施設等に被害を及ぼさないようなことで検討をして、実施してまいります。

総合農政課長 今現在、竹やぶについては、現時点での対応策として、整備事業による重機借り上げ、原材料の支給等によって年次的に整備をしていくか、今後、国、県の補助事業関係が対応できないかということで、28年度に向けて、国、県の補助事業関係の一部として対応できないか検討してまいります。

大崎 前田川準用河川について、西之町集落内にある大浦川からの用水路になりますが、長い歳月により崩壊、川が埋まり、用水路の役目がほとんどなされておりません。改修工事をお願いします。

建設課長 町が管理する普通河川であります。ご要望の箇所については、構造物で改修工事を行うとすると、相当高額の工事費の確保が必要となることから緊急な対応は厳しい状況です。より洲等の除去に合わせ、しがらを組ん

で保全をする対応を検討していきます。

県道排水対策について

大崎 県道西之表南種子線、平山地区浜田集落の排水対策について、排水路はU字型側溝で施工されており、ふた付です。その側溝がより土のために完全に埋まり、側溝の役目が全く機能されていません。そのために大雨ごとに氾濫し、道はたちまちのうちに川に変化、水は民家にまで入り床下浸水はこれまで数えきれないとのこと。改修工事をお願いします。

建設課長 道路管理者である鹿児島県に改善の要請をいたしました。県も早急に対応するとのこと。

荃永地区河川について

大崎 東馬渡川^{もうながわ}上流、宇都浦川は竹や雑木で覆いかぶさり、両面が崩壊し、大雨による氾濫もしばしば、宇都浦集落のほとんど中央を流れているため、大きな洪水、氾濫がおきますと、民家の浸水も大いに

考えられます。改修工事をお願いいたします。

建設課長 河川に覆いかぶさった樹木の伐採については、所有者の同意を求め、実施したいと考えております。河川の護岸拡幅は、補助事業の導入も含めて条件的に厳しい状況です。用地の確保などの問題もありますので、地元関係者等のご意見をいただきたいと思っております。

国道58号線の安全対策について

大崎 長谷地区街路樹、ソテツについて、車の運転、特にホイルトラクターの運転に非常に見通しが悪く、ソテツの撤去をしてもらいたい。

建設課長 安全性を高める上で葉っぱについては、取り除いている状況です。撤去については、実情を県のほうに伝え現地調査もしていただき、判断していただきたいと思います。



広浜 喜一郎 議員

公立種子島病院の運営について

広浜 午後診療の開始について、余りにも町民から意見や要望が多いです。再度質問しますが、午後の一般診療ができない理由は何か。

町長 常勤医師が安定的に確保されていないことが、一番の原因となっている。午後診療をやるには5名の医師を確保しなければならぬ。午前午後の外来診療になると他の業務が追いつかない。

広浜 前院長の時代には3名の常勤医師で午後の診療もやり、午後のリハビリもやり検査もやっていました。午後の診療や健診が増えたという答弁もありましたが、そんなに仕事量も増えてないと思います。町民にどのように説明したらいいのか。

町長 現在3名の医師でどうすることもできないということです。

広浜 12月の私の一般質問の中で、午後の診療やリハビリそれに検査ができない理由の町民への周知を町の広報紙や病院の広報を通して中種子町民、南種子町民にきちんと伝えたいと答弁しておりますが、それをやりましたか。

町長 それをやっております。それから、行政と医師と一体となり住民の不満に応え理解を求めていくことをしないとイケませんので、私の答弁したようなことを町民に知らせたい。

広浜 5名の医師の確保見込みはいつごろか。

町長 それがわからないんです。一生懸命やっております。

広浜 現在、胃力メウ等の各種検査が公立種子島病院でできないため、西之表の病院や鹿児島まで行って検査を受けたりして町民が非常に苦勞し、無駄な経費を使っています。各種検査が実施できる見込みは。

町長 見込みはない。中種子町の議会、町長を含んで協議会を持ち、不足分の医師を確保するために頑張っている。

広浜 入院、外来患者数を昨年と比較した場合、どのような状況か。

町長 平成28年2月末の患者数を昨年2月末と比較しますと、入院患者数で2140人の減、外来患者数で3771人の減少です。

広浜 午後の診療やリハビリ、検査等をしないわけですから当然の結果だと思えますが、町長は患者数減少の理由は何だと思えるか。

町長 原因は医師の4人体制が3人体制に変わってきたのがあります。

広浜 病院の経営状況についてですが、昨年4月から今年の1月までの収支状況はどのようなになっているか。

町長 数字を詳細に私が報告するというのはどうでしょう。28年の1月末の収支については、1432万6741円の赤字です。

広浜 3月末では、4704万8千円位の赤字となる見込みです。累積赤字額は、今年度分を足しますと6億4669万6千円位になる見込みのようです。

町長あなたは選挙公約で、公立種子島病院運営を早急に立て直し、医療福祉の充実を図ると言っておりますが、病院経営はますます悪くなり、診療体制も前より悪くなっていると思いますが、町長の公約に対しての結果をどのように思っているのか。

町長 私は、あなたの言う逆です。私が増えてよくなったという人が多いです。

人口減少対策について

広浜 28年2月末現在の南種子町の人口は5896人となっているようです。毎年人口の減少は続いており、この人口減少傾向に今後どのような対応策を町長は考えているのか。

町長 町における当面の人口減少は避けられないと思っている。具体的には、宇宙関連企業との連携した企業誘致を推進する体制づくりや、地元就職希望者のマッチングの相談窓口を設置するなど展開を図り、定住促進を図りたいという考えで28年度そういう方向で進みたい。

広浜 若者を地元に残さない人口減少は防げない。若者を地元に残すには働く場所があることが大事で企業誘致活動が必要だと思うが。

町長 議会とも協議をしながらか進めていきたいと思っている。



西園 茂議員

税務課長 引き続き滞納
縮減に務め、滞納整理に係る
専門知識を高め、法律に従い
公平、公正な税務行政を推進
し、何より滞納者の生活再建
を目指していきたい。



日高 澄夫 議員

認知症介護など町総合事業で大丈夫か

日高 国は医療、介護総合法で、要支援1・2の訪問介護と通所介護を介護保険事業から外し、市町村の新総合事業に移行します。町は介護保険から要支援者外しを実施していますか。

保健福祉課長 町では、改正介護保険条例に基づき、平成28年4月から要支援者の訪問介護と通所介護を市町村事業に移します。

日高 何人位外される予定か。

保健福祉課長 現在要支援者1・2の認定者は71名。認定見直しに合わせて順次移行しますが、これまで介護認定審査会で認定されなければ給付の対象となりませんが、市町村事業に移行するに伴い、チェックリストにより対象者と認定できれば給付の対象になることになります。

日高 肝心なことは、町の新総合事業が介護保険事業のサービスと質が変わらないかということ。町の総合事業の受け皿は十分ですか。

保健福祉課長 町の新総

合事業では、運動教室などを全地区で実施して、介護予防に重点を置いて進めます。訪問介護、通所介護については、これまで同様実施します。サービスの質が低下しないよう努めます。受け皿については、介護保険事業者と協議しながら本町の資源を最大限活用していきます。

日高 国は、介護保険事業から要支援1・2を外したばかりですが、要介護1・2の外しを来年の通常国会に提案する準備を財務、厚労省で検討しているようです。要するに国は、サービス利用を抑えながら、保険料負担を強化する狙いがあるものと思われまふ。最近、認知症の男性が徘徊中に列車にはねられ死亡し、JR東海が遺族に損害賠償を求めた裁判で、最高裁は遺族に賠償責任はないとの判決に全国民はとじたことでしょうか。この裁判で投げかけられている問題は、軽度を含む認知症の患者さんだけでなく、独居老人、そういう方々に対して社会が面倒を見るべきじゃないかと報道されています。社会が責任を持つというイメージが私はよくわかりませんが、自治体が大変な責任

を負うことになるのではないだろうかと思えます。介護サービスなどなど、自治体の長としての考えを示して下さい。

町長 私としては、国が実施する方向の中で最大限有利な事業を導入してやっていく。市町村への移行となる要支援者の訪問介護、通所介護は、サービスが低下するということにはならないという判断をしています。住みなれた地域で安心して暮らすための地域包括ケアシステムの構築ということが求められているので、地区に配置する地域支え合い推進員や本町の資源を活用して、元気高齢者を増やす取り組みをしていく。

日高 施策はいろいろあるでしょうが、地域包括ケアシステムをどう構築していくのか。介護保険が改悪される中で、自治体の取り組みは重大だと思えます。ケアシステムは、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されること。在宅医療・介護連携、認知症施策の推進、地域ケア会議、生活支援の充実・強化等の4点について、どんな構築策を立てているか。

日高 茎永の水田で、大雨で冠水した水田の排水のために大型ポンプを4・5台配置して一時間位で排水できるように考えるべきではないですか。

保健福祉課長 在宅医療・介護連携について、多職種連携研修会を開催し、医療・福祉・介護の共通理解を図る。また、公立種子島病院に在宅介護・医療連携相談室を設置します。認知症の施策では、介護施設入所原因の一番多い認知症の早期診断・早期対応を行う認知症初期集中支援チームを組織します。医師、看護師、福祉関係の専門職のチームです。生活支援の充実では、地域支え合い推進員を各地区に配置して、運動教室、サロンの開催や高齢者の見守りなど、生活支援のために組織づくりを進めます。

冠水した水田の排水対策

日高 茎永の水田で、大雨で冠水した水田の排水のために大型ポンプを4・5台配置して一時間位で排水できるように考えるべきではないですか。

町長 地元の負担が小さい補助事業でやれるようなことができないか検討してみたいと思います。

トンミー館の運営と販売状況について伺う



河野 浩二 議員

河野 先ずパートを含めた職員数と新たに副館長の雇用は考えていないか。

町長 館長と臨時雇用4人の5名体制で運営している。副館長については収益が当初計画より落ち込んでいるので、黒字化を達成してから検討したい。

河野 登録会員数と常時、商品を搬入している会員数について何名か。

総合農政課長 登録会員数は536人で月平均198人が常時搬入をしている。野菜関係が時期的に春先・秋口に集中している。今後は周年出荷に向けて対策を取って行きたい。

河野 直近の月での年商、月商平均と来客数平均は。

総合農政課長 27年2月末現在で8699万5856円。1日の販売額平均は26万5231円であり来客数は235人となっている。又28年度の売上目標は1億2000万円を計画している。

地域おこし協力隊について

河野 来年度より採用予定の地域おこし協力隊について

て募集人員と活動内容を示せ。

企画課長 3名を予定している。インターネットの指導や特産品開発と販路開拓業務。地域情報発信等の業務を考えている。全国に募集をかけているので良い人材が来町してくることを期待している。

新規就農支援について

河野 新規就農支援について制度の内容及実績を示せ。

総合農政課長 国庫事業であり、農業技術を習得するための研修に専念する就農支援準備型と、新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を支援する経営開始型がある。それぞれ年間150万円の支援がある。実績としては24年度開始以来、11人が事業に取り組み、これまで10人が農業経営を開始している。

地域支え合い推進員について

河野 地域支え合い推進員の仕事を示せ。

保健福祉課長 運動教室

を各地区で週1回運営する。又月曜日から土曜日までの放課後児童クラブの運営を基本に、高齢者の見守り活動の支援、サロンの開設、防災対策など地域における健康福祉としての業務を予定している。

緑樹帯撤去について

河野 歩道の緑樹帯の撤去について伺う。昨年中本通りが樹木帯を撤去した事で見通しの良いすっきりした道路になった。交通安全や管理費を考えた時、上中市街地の緑地帯は撤去した方が良く考えるがどうか。

建設課長 設置当初は緑化による環境整備と多面的に緑樹帯が交通安全目的、機能も有しているとの事でつくられた経緯があるが、現在では交通の利便性も含めて高齢者や子供たちが通行しやすい歩道になるようにと考え方が変わって来ているので各方面の意見も聞きながら検討したい。

交番制について

河野 来年3月より開設予定の警察・交番制に移行する事で、島間地区、荃永地区、西之地区の駐在所は廃止される。長年駐在所が地区内にあり安心・安全だった各地区は、今後どのような形で防犯防災を担保するのか伺う。

町長 交番制にする最大のメリットは、夜間体制の強化・有事即応体制の強化と説明を受けている。又、交番制になっても各駐在所が所管していた地域当番制は崩さずに、現状を下回ることのないよう地域安全のために配慮するという事であった。地域の安全は、町としての責務でもあるので、今後も警察との連携を充分に取りながら最大限の安心・安全なまちづくりに努めてまいりたい。

河野 新交番の名称について、出水市に鶴の町交番というのがある。又、沖永良部島の空港はこのたび、えらぶゆりの島空港と命名された。そこでわが町の交番は宇宙の町交番としたらどうかだろうか。町長の所感を問う。

町長 県警本部が決める事で何とも云えないが、意見交換はお願いしてみたい。

「コミュニティバスの運行拡充について」調査報告

総務文教委員会 委員長 塩釜 俊朗

調査の目的

本町が運行している高校への通学バスとコミュニティバスを兼用している関係から、現状把握と交通弱者への運行拡充についての調査を行うことを目的とし、まず本町が運行しているコミュニティバスの運行状況と、島内での実施運行している西之表市のデマンド方式の乗り合いタクシー、島外の市町村でコミュニティバスからデマンドタクシーに切り替えた肝付町を調査した。

南種子町企画課

資料に基づきコミュニティバスについての概要・運行の状況について、利用実績について、利用料及び運行経費について説明を受け質疑にはいりました。

● 質疑では、
● 高校へのバスは朝1便、下校は2便かの問いに、朝1便

は、6時40分に上中を出発するバスが1台。2便が7時45分発が2台、帰りは種子島中央高校17時発1台と19時発が2台、その運行の空時間を利用してコミュニティバスが町内4地区を回る。午前1回、午後1回とのこと。

● 空時間をフルに使っていることで、余裕がないとのことですが路線を増やすとか、時間帯をずらすことは今のところ考えられないと理解して良いかの問いに、今のバスでは無理。別途契約すれば可能、しかし経費が必要とのこと。

● 町民からどのような要望があったか把握しているかの問いに、便数を増やしてほしい。家の近くまで来てほしいなどの声があることは聞いている。その他質疑等があり本町のコミュニティバスについて調査を終了した。

西之表市行政経営課

西之表市のデマンド型乗り合いタクシー（愛称どんがタクシー）は、各校区に居住する交通弱者等の移動手段を確保するために、各校区と市街地を結ぶデマンド型（予約運行型）の乗り合いタクシーを運行している。又市街地巡回バス（通称若狭姫）ですが、交通弱者等の市街地での移動手段を確保するため西之表港を始発・終点として市街地の主な公共施設、医療機関、スーパー、銀行、郵便局の拠点施設を結ぶコースを南回りと北回りの2方向で循環する乗り合いバスを運行している。

● 何人乗りかの問いに、どんがタクシーは10人乗り、若狭姫は13人乗り。
● 運行については、利用者の見込みがあつて始めたのかの問いに、高齢者を対象にしたアンケートの実施や各校区を

回り意向調査を実施した。
● 2つの事業に分けて実施した理由はとの問いに、公共交通になるため、バス停が必要、目的地までということになると、タクシー事業者がある。バス停は22カ所設置。病院、公共施設、大きなストアーに設置自由乗り降りという制度もあるが、市街地では難しいとの答弁。以上で西之表市の調査は終了した。

肝付町企画調整課

肝付町の路線バスは高山岸田線（廃止路線代替バス運行は三州交通）ふれあいバス（内之浦地域のコミュニティバス）を運行していたが、高山岸田線については、利用者が少なく、平成19年～20年にかけては多くの利用者があつたが、その後、平成22年までには減少傾向にあつた。又コミュニティバスについても減少傾向にあつた、このようなことから、平成25年度からこれまでの公共交通（廃止路線代替バス）やコミュニティバスから事前予約型タクシーへの変更したことで利用者が増加し利

便性の向上が図られ、又国の補助金（地域間線系確保維持費補助金）を活用することで、経費節減が図られたとのことです。

● 導入にあたりアンケート等を行い路線を決定したのかの問いに、住民説明会の実施、公共交通会議でアンケート等を行い利用調査を実施したとのこと。

● デマンドタクシーの乗車人数はの問いに、通常タクシー5人乗り。

● 高校のスクールバスは運行していないのかの問いに、以前は高山高校に運行していたが廃止、通常の路線バスを利用しているとのこと。

以上の調査結果を踏まえ所管事務調査のまとめを行い当委員会は、次の通り意見を集約し当局に申し入れることとした。

◎ 現在運航しているコミュニティバスの利用実態を調査し、今後の運行形態について早急に検討し、巡回バス、デマンドタクシーについても、調査・研究をすべきである。

予算委員会報告

総務文教委員長 塩釜 俊朗

総務文教委員会に分割付託された、平成28年度南種子町一般会計予算の審査の経過と結果について報告します。

審査の方法は、平成28年度予算の予算編成方針及び内容について、各課より説明を受け質疑応答にて審査いたしました。

会計課

役場関係及び病院関係の歳入歳出の全般にわたる会計事務を、適正に行うと共に公金の適正は出納・保管はもちろん公金のきめ細かな運用を図ることが主な業務である。

質疑 指定金融機関が種子屋久農協だがいっ頃から。又見直しについては。

答弁 平成7年度から。公金管理研究会でも協議しているが、現在のところ双方から疑義の申し入れがないため、当初契約の自動更新となっている。

教育委員会社会教育課

28年度は、各地区の公民館を基軸として学校・家庭・

地域・各種団体の連携を図りながら、生きがいと温もりに満ちた生涯学習社会を推進し、共生・協働の地域社会づくりに努めていく。

質疑 公民館主事の廃止、公民館活動の低下が懸念される。どのような方策で活動強化に努めていくのか。

答弁 地域と一体となった活動については、館長を中心に行っていく。主事廃止で変わる環境の中で、公民館と話し合いをしながら、公民館講座や他の関係も事務局の配置を含め検討し、体制づくりを図る。

質疑 地区公民館の管理はどこがするのか。

答弁 経費的な関係については社会教育課、管理については、新たに配置されようとする福祉の推進員と協議しながら、地区の館長とも連携を図りながら行っていく。

税務課

適正な課税客体の把握と

適正な課税を基本として、税収確保をはかることを基本に予算編成を行った。町内の景気につきましては、畜産を除き異常気象による農作物全般に収量、品質の低下により大幅な減少となった。

質疑 収納率アップにどう努力してきたか。

答弁 臨戸徴収はもちろんのこと、預金調査をし預金がある者については即差し押さえを実施、動産についても差し押さえをして競売を実施、延滞金の関係も含めて見直しを図っていく。

教育委員会給食センター

学校給食は、より安全で、おいしい給食の提供に努め、食中毒や異物の混入などの事故が発生しないよう取り組んでいる。

質疑 給食費の無料化について、学校給食は保護者負担とすると明記されている。そこはクリアされているか。

答弁 学校給食法で学校の設置者と保護者が分担するよう定められている。食材にかかる費用は保護者負担となつているが、設置者の判断で保護者の負担を軽減すること

は可能。

教育委員会管理課

昨年から実施を進めている小中一貫教育推進については、小中連携・小小連携の充実を図る。宇宙留学制度については、中平小学校以外の7校に32名の受け入れを行う。

質疑 宇宙留学の補助はいつから4万円になったのか。

答弁 28年度から。里親対策の関係や消費税も3%から8%になったりして総合的に検討した。

企画課

平成27年に策定した地方版総合戦略計画「トライタウ・南種子町宇宙・歴史・文化の町総合戦略」に基づき、政策目的を明確にし、客観的な指導により検証を行い、経済的な取り組み改善に努める。

質疑 地方創生交付金はどこで受けるのか。事業の実施は。

答弁 歳入はまだ未定。事業はいくらか入れ込んで。4月以降申請。要綱がはつきりしてから、財源確保に努めたい。

総務課・選挙管理委員会

予算編成の基本方針としては、真に必要と認められる行政需要に対応するため、重点的かつ効果的・効率的な施策の公開に努めている。歳入において税収の確保、国・県支出金や有利債の活用など、引き続き財源確保に努める。

質疑 平成28年度末で65億円の地方債の残高、健全財政といえるのか。

答弁 指数的には範囲内、起債残高は増えないよう努力する。

質疑 新規の町債発行。平準化の方針になっているか。

答弁 基本的にはその方針である。

以上で総務文教委員会に分割付託された議案第24号平成28年度南種子町一般会計予算について審議し、当委員会の総括審議を行い終了した。採決に入り討論もなく総務文教委員会に分割付託された議案第24号平成28年度南種子町一般会計予算は、原案の通り可決すべきものと決定した。

予算委員会報告

産業厚生委員長 西園 茂

産業厚生委員会に付託された、平成28年度一般会計・4特別会計予算の、審査の結果と結果について報告します。審査の方法は平成28年度予算編成方針及び内容について、各課より説明を受け、質疑応答にて審査しました。

農業委員会

農地法に係る事務、農業振興に係る事務を行い、遊休農地の権利調査、担い手への農地集積推進・農用地利用配分計画案の作成協力・農地情報の提供・インターネットでの公開を進めるとのこと。

質疑 貸し手農家の農地流動化奨励金は一筆で1反以上、2反以上の制約があるのか。

答弁 貸し手は一筆あたりでなく、1反あたり5000円とのこと。

観光課

観光イベント事業は第30回たねがしまロケットマリン・ロケット祭・第3回星コンの婚活イベントの開催支援の実施・29年の第1回種子島宇宙芸術祭の開催にむけて支援したい。

質疑 平成29年の種子島宇宙芸術祭について、取り組み経過はどうなっているのか。

答弁 平成24年よりプレイベントを実施。昨年、種子島全島の実行委員会が発足した。種子島だけが持つ宇宙芸術祭、全島あげて推進したい。

あおぞら保育園

平成28年度保育運営は、子ども達の安全を第一に考え、保護者の子育てを支援し、子ども達の成長をサポートしたいとのこと。

質疑 幼児数が減っている。全体の幼児数のうち保育園は何名か。

答弁 平成27年調査では(0歳児)5歳児)出生が284名・あおぞら保育園は90名です。

総合農政課

本町では、担い手の確保・所得向上をめざし、「元氣の出る」農業を推進したい。町観光物産館は「地産地消」地元農産物や加工品等の販売拠点であります。今後は「食育」「地元産品の島外発信」「販路開拓」推進拠点として農家所得向上と地域産業の推進を図りたい。

い。

質疑 施設方針で観光物産館の民間委託するとあったが、収支の採算的な問題か。他に理由があるのか。

答弁 町の農業施設関係はそれぞれ独立した運営方針で行くと、指示を受けている。指定管理等も含めて検討したい。

質疑 堆肥センターは赤字が出ている。どうやって民間委託するのか。

答弁 堆肥の適正価格への見直しと積極的販売にて、収支をプラスマイナス0にし、民間委託を協議したい。

建設課 水道特別会計

給水人口の減少や施設の老朽化等による維持管理費の高騰があり、また基金の枯渇による非常に厳しい経営となっている。水道使用料の改定が必要とのこと。

質疑 水道料金の過年度滞納者に給水停止を実施したことがあるか。

答弁 給水停止をしています。水道料金の収納率を高めたい。

建設課

第5次長期振興計画を基本として事業を進めています。又緊急性を要する事業を

重点事業として取り組むとのこと。

質疑 道路除草等の作業委託を業者にさせる理由は。

答弁 町道の整備が遅れることがあり、町内の道路は満遍なく定期的に整備したい。

質疑 道路ふれあい愛護活動助成金とはどんな事業か。

答弁 希望する集落・地域に助成金を支給し道路管理等をしてもらう事業とのこと。

保健福祉課

高齢化社会に適応した福祉サービスの提供ができる事業推進。

シルバー人材センターの設立を検討し高齢者の幅広い社会参加の推進をしたい。又全地区で、放課後児童クラブの開設を進めます。

18歳までの医療費助成事業を実施します。国保特別会計・後期高齢者特別会計は特定健診等の推進で医療費抑制につとめ、介護保険事業では高齢者の自立支援をはかり、地域全体で支えるため、各地区公民館に「地域支え合い推進員」を配置し、住み慣れた地域で安心して暮らせる健康づくりを推進したい。

質疑 地域支え合い推進員の内容と勤務体系について

は。

答弁 勤務場所とは各地区公民館。用務は週1回の運動教室、サロンの開設、介護を中心とした団体の育成や自主活動の啓発。勤務時間は役場の契約職員と同じです。

以上産業厚生委員会に付託された、平成28年度一般会計予算について審議を終了し、又総括質疑を行い終了した。

次に当委員会の平成28年度一般会計予算・介護保険特別会計予算の討論を行います。委員より反対討論あり。予算審査を通じて、あいまいな事業が非常に多いこと・地域支え合い推進事業の予算が出ているが内容が不明瞭であり公民館とのつながりがあるので反対とのことでした。

他に討論はなく、採決の結果、賛成少数。よって当委員会が付託を受けた平成28年度一般会計予算・介護保険特別会計予算は否決すべきものと決定しました。

次に平成28年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計予算・簡易水道事業特別会計予算・後期高齢者医療保険特別会計予算について討論を行いました。討論なく、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

町執行当局に対する申入れ事項・提言事項はなく会議を終了した。

当初予算討論要旨

立石 靖夫

平成28年度一般会計予算 について反対討論

一、反対の理由は、町公民館の設置条例の一部改正する、条例改正説明内容に一時間も議案審議を中断したことは、提出者の責任である。

二、南種子町基本政策である(新しい人の流れをつくる)交流・移住・定住の促進を図る本町の政策は絶対必要で、宇宙センターのある町として、観光課があることは観光宣伝にもなります。費用対効果だけ論じて、観光課を廃止することには反対です。

三、地区公民館では、館費の増大、役員になり手がいない、館費の6割が役員手当てで、公民館で活動すればするほど館の維持管理費が増大することから、地区公民館長、公民館

主事(会計・書記)の報酬を行政が支援し、公民館活動を活性化すべく平成24年第4回定例会で可決した。

今回の改正は条例公民館長、公民館主事を廃止する一部改正で、改正には反対する。

四、一般町民を対象とした雇用対策事業、道路、公園、公共施設の草払いを廃止して、建設業者に委託することは一般町民の働く場の切り捨てであり、一般町民でできる草払い等はさせるべきである。

また、海岸漂着物等対策事業の委託先をシルバー人材センター設立後委託させるのか、町内建設業に委託させるのか、説明が不透明である。よって、平成28年度一般会計予算は反対です。

平成28年度介護保険特別 会計予算反対討論

一、町長は条例公民館主事廃止について、地区公民館長と協議の中で、主事の代わりに地域支え合い推進員に地区公民館の運営を支援させると約束し、地区公民館連絡協議会は公民館主事廃止に承諾したとの事です。が、本来の業務内容と地区公民館の会計、書記、行事の準備から段取り、集落自治公民館との連絡調整、館長の会議代理出席など、地域支え合い推進員は兼務できるはずがありません。町長は、一般財源で支出するのでなく、国の補助事業である地域支え合い推進員で対応するとの説明であり、補助金適正化法に触れるのではないかと思います。このような兼務業務は不可能である。

二、地域支え合い推進員の募集を3月発行の広報紙に掲

載しておりましたが、まだ予算も可決していないのに、掲載することは議会軽視である。以上のことから、平成28年度介護保険特別会計予算に反対します。

人 事

人権擁護委員の推薦について

柳田 博

南種子町島間4898番地6
昭和25年9月26日生(65歳)



やなぎた ひろし 氏
柳田 博

「適任」と答申。

副議長に西園 茂氏を 選出

日高澄夫議員の副議長辞職及び議会運営委員辞任に伴い、副議長に西園茂氏を選出。



にしぞの しげる 氏
西園 茂 副議長

また、議会運営委員会委員に立石靖夫氏を選出した。それに伴い次のように委員長・副委員長が選出された。

議会運営委員会

委員長 立石 靖夫

産業厚生委員会

委員長 河野 浩二
副委員長 西園 茂

#

賛否が分かれた議案（○は賛成、×は反対、△は除斥）

平成28年第1回臨時会（3月3日～17日）

(議員氏名) (議案名)	河野 浩二	柳田 博	大崎 照男	西園 茂	塩釜 俊朗	広浜 喜一郎	上園 和信	立石 靖夫	日高 澄夫	小園 實重
議案第3号 組織機構改革に伴う関係 条例の整備に関する条例制定について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	議 長 職
議案第7号 南種子町立公民館の設置 及び管理に関する条例の一部を改正する 条例制定について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	
議案第8号 南種子町出産祝金支給条 例の一部を改正する条例制定について	○	○	×	×	×	○	○	○	×	
議案第24号 平成28年度南種子町 一般会計予算	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
議案第27号 平成28年度南種子町 介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	
諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき 意見を求めることについて	無記名投票の結果、賛成4・反対4で議長採決により 「適任」と答申。(柳田議員は除斥)									

編集後記

平成28年度予算が3月17日の定例会議で可決・成立しました。

町議会は今年度も町の議事機関として、重要な予算を決定しました。

本町の一般会計の適正予算は40億円前後とされていますが51億760万円です。義務的経費が嵩み多額の予算となつています。町民の生活は安定しているとは言えない現況です。

限られた予算ですが、町内の生産額を上げることが町民の生活安定を図ることが急務だと痛感しています。

又、町議会は行財政運営の批判と監視の重大な役割があります。住民全体の代表者として今年度も町行政の業務チェックに努めます。

議会とは町民のための議会です。多額のお金の使われ方が

決まります。

議会傍聴に来ていただけないか。

新しい時代・世代に繋げる政策決定の場です。町民の傍聴は是非々々の議論が多くなります。この時代に生きた我々の責任と捉え、すべての町民の「心の豊かさ」を実現出来ますよう御協力をお願いします。

最後に、熊本地震による被災者の皆さんが、元気で、この災難を乗り越えますようお願いばかりです。

議会広報編集委員会

(文責) 西園 茂

